

令和6年度 国立夜須高原青少年自然の家教育事業

夜須高原ファミリーキャンプ③

『～竹を使って流しそうめん体験～』

【実施報告】

1. 趣 旨 夜須高原の里地里山に及ぼす竹害の現状に触れ、竹を活用した自然体験や生活体験の中にSDGsの視点を取り入れ、家族で持続可能な社会づくりについて楽しく学ぶことを目的とする。また、活動を通して、親子の絆や参加者同士の交流を深める場を提供する。
2. 主 催 独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立夜須高原青少年自然の家
3. 期 間 令和6年7月13日(土)～14日(日)
4. 場 所 国立夜須高原青少年自然の家(福岡県朝倉郡筑前町三箇山1103)
5. 参加者 57名(15家族)
6. 活動の様子 ※豪雨の影響により活動内容を変更しての実施となった。  
6-1. 里地里山ウォークラリー館内 Ver.



#### 6-2. 竹ぽっくり作り



#### 6-3. 家族交流タイム



#### 6-4. 竹のMy箸・食器を使っのそうめん体験



### 7. 感想

#### ①プログラムに関すること

- ・クイズやゲーム等をとおして里山の自然や里山の生き物について知れて良かった。
- ・竹を切るのが大変でしたが、良いものができました。
- ・はじめてのポッチャとシャッフルボードいい体験でした。
- ・はじめての竹細工は子どもたちも楽しんだようでした。

#### ②事業全体に関すること

- ・雨だったので楽しみにしていたプログラムができず残念でした。そんな中色々と考えてくださったスタッフの皆様感謝です。
- ・竹で色々な工作ができたし、他の家族とふれあうことができて良かった。
- ・悪天候の中最大限に楽しめました。

### 8. 成果

本事業を通して、初めて実施した館内 Ver. の里地里山ウォークラリーについては、今後内容をブラッシュアップすることで、研修支援にも落とし込むことができるのではないかと感じた。

また、参加者より「里山や竹について、ウォークラリー等をとおして知ることができて良かったです」といった感想があり、本プログラムを事業の冒頭で実施することによって、夜須高原青少年自然の家で竹を活用することの意義を参加者に伝えることができたのではないかと考えられる。

さらに、本事業では、4名のボランティアが参加したことで、参加者に対してより丁寧な対応を行うことができた。

### 9. 課題

竹細工については、特に竹を切る作業に苦戦している家族も多く、今後は、作業工程の簡略化などの工夫を検討する必要があると感じた。

また、家族交流タイムで実施したニュースポーツについても、幼児には難しかった等の意見があり、内容の見直しを検討する必要がある。

さらに、今回は、豪雨の影響により活動内容を大幅に変更することとなった。今後流しそうめん体験のプログラムを実施する場合には、天候の影響を鑑みた活動場所・プログラムの設定をより綿密に検討する必要がある。